

令和 3 年 8 月 20 日現在

機関番号：62603

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H02013

研究課題名（和文）政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成

研究課題名（英文）Formation of research utilization platform through structuring of official statistical micro data

研究代表者

椿 広計（Tsubaki, Hiroe）

統計数理研究所・大学共同利用機関等の部局等・名誉教授

研究者番号：30155436

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 36,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究班は、統計マイクロデータと呼ばれる公的統計調査票情報の利活用推進のための研究を行った。研究目的を達成するために、統計マイクロデータを分析する研究者、公的統計に関する統計的技法の研究者、マイクロデータ提供の責任を有する統計局周辺の専門家が協働し、マイクロデータの研究者への提供と研究者のマイクロデータ分析の両者の生産性向上に資するマイクロデータの研究利用制度の新たなプラットフォームを設計開発した。また、必要な統計的方法の提供を通じ、プラットフォーム実装を支援した。更にマイクロデータ分析を行う研究者間の国内外の学术交流を推進した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は統計法改正で誕生した統計マイクロデータの新たな場分析環境の利活用の促進に繋がる。統計マイクロデータ分析を活性化することは、日本の社会科学分野の質的向上に資するだけでなく、官学のマイクロデータ利活用政策研究が進めば、証拠に戻づく中央政府や地方自治体の政策立案などの質向上が図れ、国民生活の向上にも資する。

研究成果の概要（英文）：This research group conducted a series of researches to promote the utilization of official statistical questionnaire information called statistical microdata. Researchers who analyze statistical microdata, researchers of statistical techniques related to public statistics, and experts around the Bureau of Statistics, who are responsible for providing microdata, collaborate to study microdata in order to achieve the research objectives. We designed and developed a new platform for the research utilization system of micro data that contributes to improving the productivity of both the provision to a researcher and the micro data analysis by the researcher. We also supported to implement the developed platform by providing the necessary statistical methods. Furthermore, we promoted domestic and international academic exchanges between researchers who promote micro data analysis.

研究分野：応用統計学

キーワード：経済統計学 統計制度 データ利活用

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

#### 公的統計調査・統計制度に関わる背景と課題(マイクロデータ作成・提供側)

公的統計特に基幹統計は国民に統計法上の回答義務があるのだが、個人情報保護意識の高まりの中、徐々に回答率が低下した結果、統計精度を保つために、適切な欠測値処理、すなわち補定(Imputation)による統計作成が必要となっていた。また、平成27年度から研究代表者は4年間(独)統計センターに勤務し、公的統計編成作業の統括にあたった。そこでじゃ国民から徴集した調査法情報(統計マイクロデータ)の審査対応職員減員の中で、精緻な統計マイクロデータ審査が困難になっていた。このため「集計に影響する外れ値」を重点審査する分析的審査プロセスの確立も課題であった。

平成27年度からは、大学から中央統計機関へのリモートアクセスに基づく統計マイクロデータ研究利用整備計画も始まり、集計情報と共に統計マイクロデータの質を同時に担保する必要も生じていた。しかし、公的統計部局は、日常業務に労力を割かれ、その効率化等に資する分析や方法の研究や実装に十分なエネルギーを投入できない状況にあった。

#### 社会データを用いた学術研究に関する背景と課題(マイクロデータ利用側)

欧米では、昭和50年代後半に統計マイクロデータに基づく研究が実施可能となり、計量モデリング手法の発達とともに、社会科学実証研究の水準向上に寄与した。

一方、日本の実証研究水準向上を目指し、平成に入って、松田芳郎教授(当時、一橋大学)を研究代表者とする科研費特定領域研究班が活動を行った。ここでは、統計科学との研究者が協業し、日本の統計マイクロデータ研究活用制度設計と、当該制度下で必要となる統計的方法を集中的に研究し、本基盤研究研究代表者は、分担者の美添泰人教授の研究グループでこの特定領域研究に統計マイクロデータの分析技術や分析可能な疑似データ作成研究で参加した。松田区定領域は、その後の統計法改正に基づく現行の二次的利用(統計マイクロデータの研究などでの活用)制度確立に大いに寄与した。しかし、同制度下でも、研究者のマイクロデータ利用に要求されるセキュリティレベルは高く、利用しやすいものではなかった。また、現行匿名データに基づく実証研究が、国際学会では採択されないなどいまだに提供が不十分という問題もあった。

このため、新統計法下の二次的利用制度が普及せず、実証研究の水準向上にも繋がっていない現状があった。現実に統計制度を運用し、統計マイクロデータを提供する政府機関・提供されたマイクロデータを利用する社会科学研究者・それをサポートする統計的方法を開発する研究者の融合的研究を再組織し、統計制度に実装可能な統計編成・審査プロセス・統計マイクロデータ開発・提供制度を明らかにする必要がある。

### 2. 研究の目的

本研究は、公的統計マイクロデータの作成・提供者、その研究利用者、統計編成に関する先端的統計的技法の研究者が協働し、統計マイクロデータの実証研究利用効率と提供作業効率を同時に最適化する公的統計二次的利用制度の新たなプラットフォームを研究し、わが国への実装支援を目指した。

このため、総務省政策統括官(統計基準担当)・統計局・統計研修所、(独)統計センターと協働して、公的統計マイクロデータベースの構築と運営を扱う「プラットフォーム設計・研究ユニット」、データ利用者の便宜とデータ提供者の作成効率を向上させる統計技法の研究を行う「データ構造化・標準化ユニット」、データ提供者のシーズとデータ利用者のニーズを明確にし、利用者間学術交流を促進する「データ活用効率化・活性化ユニット」の3研究ユニットを構築し、その有機的連携により研究を推進した。

### 3. 研究の方法

本研究は研究代表者の統括のもと、プラットフォーム設計・研究ユニット、データ構造化・標準化ユニット、データ活用効率化・活性化ユニットを官学協働研究として構成し、3研究ユニットが、各々のミッションを推進する。平成28年度までに設立される公的データ研究コンソーシアムの運営を通じて、公的機関のシーズとアカデミアのデータ利用者ニーズを、統計理論やシステム技法などの最新の技術を用いてつなげる研究プロジェクトを推進する。

また、海外公的統計機関あるいは公的統計以外の分野で実績のある先端的統計手法、統計制度、統計編成方法などを検討し、公的統計データの提供効率と利用価値の同時最適化を達成する。

### 4. 研究成果

#### 平成28年度成果

初年度は3つのユニットが協働で研究企画を行い、研究活動を実施した。統計数理研究所、統計センターで分担者、連携者ならびに統計局、統計研修所、統計センターなど総務省統計部局の専門家と、本科科研費で招聘したミネソタ大学の研究者と共に公的統計マイクロデータの利活用のフレームワーク、欠測値、外れ値処理や標本計画が行われていないデータとのデータ融合など理論的課題などを研究した。このための研究企画会議、研究班会議と研究報告を行うとともに、一橋大学、統計数理研究所での下記のような研究集会を支援し、公的統計データ利活用に関わる問題を明らかにした。また、統計関連学会連合大会のセッションを企画し、報告内容の一部並びに研究協力者による研究活動を代表者が編集支援した雑誌「統計」平成29年

1月特集「新たな統計技術の展開」で紹介した。

平成28年6月22日キックオフ研究企画会議(統計センター)、8月10日第1回班会議「代表者、分担者の研究計画発表」(統計数理研究所)、9月7日統計関連学会連合大会「公的統計の精度改善に関する多角的取り組み」支援(協力者、資源エネルギー庁の差推定活用、標本配分などの報告)、10月29日応用統計学の発展研究集会(統計数理研究所)共催、11月5日労働経済に関する研究会(一橋大学)を支援(労働統計マイクロデータ利活用上の問題点についての現状把握)、平成29年1月25日第2回班会議「本年度の活動報告」(統計センター)、平成29年2月27日-28日国際研究集会「ビッグデータのためのシステム設計などに関する研究」支援(一橋大学)した。

また、平成29年1月統計センターが管理するマイクロデータをサイネット経由のシンククライアント環境で分析可能なオンサイト拠点の試行的運用を分担者が一橋大学等で支援するとともに、情報・システム研究機構における拠点の設置準備も支援した。更に、オンサイト拠点での統計マイクロデータ分析結果の持ち出し・公表に関わるリスクについての検討も開始した。

#### 平成29年度成果

平成29年度以降は、3つの研究ユニットがそれぞれ活動を本格化させた。

プラットフォーム設計・研究ユニットは、マイクロデータをSINET経由のシンククライアント環境で分析可能とするリモートアクセス型のオンサイト拠点の試行運用に協力した。情報・システム研究機構に設置されていたオンサイト拠点の移転及び、新制度として予定されているオンサイト拠点設置準備を進めるとともに、多摩大学における設置を支援した。また、公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの運営体制の整備を支援し、個人会員の募集を開始した。

データ構造化ユニットでは、公的統計の編成に関するプロペンシティブスコアや確率的マッチングや秘匿に関する基礎的研究を推進するとともに、統計局・統計センターにおけるプロペンシティブスコア実務への適用(家計調査単身世帯データと消費者モニター調査を基に策定された世帯消費動向指数の推定)や、マイクロデータのオンサイト拠点での分析結果から個人情報識別されるリスクを如何に最小化するか等、公的統計部局の研究協力者の実務に対する技術的支援を行った。

データ活用・効率化ユニットでは、オンサイト拠点以外のマイクロデータ利活用技術としての秘密計算処理などに関する産学共同研究も開始した。さらに、マイクロデータ利活用に関わる研究などを進め、特に公的統計やマイクロデータ利用に関する海外研究者との意見交換も行った。研究班全体としては、平成29年9月、30年1月、2回の班会議を開催し、研究の実施状況、および、課題を共有するとともに次年度の活動方針について確認し、併せて事業者統計、欠損値処理に関して、ゲストを招いて意見聴取した。また、公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウムにおいて各科研ユニット(分科会)活動の報告を行った。

#### 平成30年度成果

プラットフォーム設計・研究ユニットでは、マイクロデータをSINET経由のシンククライアント環境で分析可能なオンサイト拠点を平成30年10月に情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設(立川)に設置し、(独)統計センターからの認可を受け、運用が可能となった。総務省社会生活基本調査マイクロデータを当該拠点並びに、平成29年度に設置されている総務省統計局統計データ利活用センター、多摩大学オンサイト拠点で分析すべく申請作業をH30年度末に実施し、平成30年度に様々な社会科学研究に利用可能な自治体別あるいは二次医療圏別マイクロデータ作成の準備を進めた。平成29年度に引き続き、マイクロデータ研究コンソーシアムの運営体制を整備している。

データ構造化ユニットは、確率的マッチングや消費動向指数に関わるプロペンシティブスコア法適用に関する研究を継続するとともに、リサンプリング技法に基づく総務省労働力統計の推定精度について検討した。

データ活用・効率化ユニットでは、オンサイト拠点以外のマイクロデータ利活用技術としての秘密計算処理、二次秘匿処理技術の公的統計への実装可能性を検討するとともに、オックスフォード大学など海外研究者や海外公的統計機関実務家と意見交換した。

平成31年1月18日には、研究班会議とともに公開の研究集会を統計数理研究所で実施し、研究分担者の研究成果を公表するとともに、オックスフォード大学、ソウル大学2名の研究者による公的統計マイクロデータを利用した研究紹介、総務省統計局、独立行政法人統計センターの公的統計実務研究の紹介があった。平成30年9月統計関連学会連合大会においても企画セッションを実施した。

#### 平成31/令和元年度成果

プラットフォーム設計・研究ユニットでは、昨年度に情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設(立川)に設置した公的統計マイクロデータのリモートアクセス型オンサイト利用拠点の運用を開始した。統計センターからの認可を受け、総務省社会生活基本調査のマイクロデータを利用して、様々な社会科学研究に利用可能な自治体別あるいは二次医療圏別マイクロデータ作成を進めた。また、公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム事務局を設置し、統計マイクロデータの研究利活用活動推進の運営を主導的に推進した。

データ構造化ユニットは、法人統計データと金融機関が持つ企業財務データのマッチング研究を推進している。教師データがあるマッチング実験を終え、中小企業信用リスク評価に対する実用段階に進んでいる。この研究を通じてよりデータ結合に関する具体的な問題点の具体化と方法論の構築が可能となった。データ活用・効率化ユニットでは、令和1年5月1日に施行された改正統計法の変更内容の周知と新たな利用ルールに基づいた調査票情報や匿名データを利用した研究成果を研究会等で発表することにより、日本の公的統計の二次利用推進や研究者への利便性の向上のための取り組みをした。

また、令和1年度は令和1年8月9日に講演会「オックスフォードからみた日本の統計教育」、令和2年1月22日、23日に研修会「統計的開示抑制のための合成データ生成」を開催し、オックスフォード大学など海外研究者や海外公的統計機関実務家と意見交換した。

#### 令和2年度成果

プラットフォーム設計ユニットは、オンサイト利用環境整備を進めるとともに、公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの運営を主導した。また、オンサイト利用における持ち出し審査を支援する秘匿処理ツールの利便性、安全性向上のための機能拡張、局所差分プライバシーを欠損値を含むマイクロデータに適用した場合のロジステック回帰分析におけるミニマックス・エラーの理論的解析を実施した。併せて、(独)統計センターの研究協力者とともに、外れ値を含む公的統計データにおけるエディットの補完技術としての推定技法について、ロバスト推定の観点からの研究を実施した。

データ構造化ユニットは、データの相関構造を保存した合成データ生成手法として、主成分分析に基づく手法を提案した。さらに、砂時計型ニューラルネットワークと呼ばれる入力層における入力変数と出力層における教師変数を同一にした多層構造のネットワークを用いることで、非線形な主成分分析による合成データを生成した。これらの手法の有用性を原データと生成データの間で、平均2乗誤差などの指標を計算し、評価した。

データ活用・効率化ユニットは、オックスフォード大学との社会生活基本調査の調査票情報を利用したジェンダーギャップ、ミネソタ大学人口センターとの分類項目が異なるデータの結合やメタ情報の付与についての国際共同研究を実施したほか、和歌山県行政データの匿名化に関するガイドラインの作成や行政データを用いた Synthetic Microdata 作成を支援した。また、Web調査に関する研究を進め、調査票に(心理)実験的な仕組み、パラデータと呼ばれる調査自体についてのデータを取得する仕組み等を導入した Web 調査の実施方法やデータ分析の結果を公表した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計90件（うち査読付論文 48件 / うち国際共著 7件 / うちオープンアクセス 20件）

1. 著者名 榎 広計	4. 巻 71(5)
2. 論文標題 データサイエンス入門(9)質的データの予測問題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 46-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 榎 広計	4. 巻 71(7)
2. 論文標題 データサイエンス入門(10)回帰と教師付き分類：多値予測問題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 50-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 榎 広計	4. 巻 71(9)
2. 論文標題 データサイエンス入門(11)質的予測から教師無分類へ	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 53-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 榎 広計	4. 巻 71(11)
2. 論文標題 データサイエンス入門(12)単純な予測を超えて：人間知能の貢献	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 18-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西郷 浩, 椿 広計, 大久保 健晴, 馬場 国博	4. 巻 1245
2. 論文標題 座談会：150年のスパンで「統計学」を見る	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 三田評論	6. 最初と最後の頁 10-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 椿 広計	4. 巻 14(1)
2. 論文標題 システム科学とデータ科学	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 横幹	6. 最初と最後の頁 64-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11487/trafst.14.1_64	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤 弘人, 有賀 徹, 谷道 正太郎, 椿 広計, 佐原 あきほ, 山崎 清	4. 巻 57(2)
2. 論文標題 人口減少と高齢化に直面する地域に求められる医療機能: モデル基礎自治体でのデータ分析からの試論	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本医療・病院管理学会誌	6. 最初と最後の頁 67-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11303/jsha.57.67	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Wada, K., Sakashita, K. and Tsubaki, H.	4. 巻 50(19)
2. 論文標題 Robust Estimation for a Generalised Ratio Model	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Austrian Journal of Statistics	6. 最初と最後の頁 74-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17713/ajs.v50i1.994	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 樫 広計	4. 巻 71(11)
2. 論文標題 大学データサイエンス教育の標準化・認定とその課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 18-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 影山 正幸, 樫 広計	4. 巻 2158
2. 論文標題 ベイズの定理の一拡張	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 数理解析研究所講究録	6. 最初と最後の頁 54-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木島 正明, 竹村 彰通, 長谷山 美紀, 樫 広計, 蓮池 隆	4. 巻 65(10)
2. 論文標題 データサイエンスのあるべき姿とは : 高等教育・研究機関における取り組みを通じての意見交換会	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ = Communications of the Operations Research Society of Japan : 経営の科学	6. 最初と最後の頁 525-536
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takabe, I. and Yamashita, S.	4. 巻 Chapter 21
2. 論文標題 New Statistical Matching Methods Using Multinomial Logistic Regression Model	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Advanced Studies in Classification and Data Science. 2020	6. 最初と最後の頁 265-274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-15-3311-2_21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanoue, Y., Yamashita, S. and Nagahata, H.	4. 巻 22(3)
2. 論文標題 Comparison study of two-step LGD estimation model with probability machines. Risk Management	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Risk Management	6. 最初と最後の頁 155-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1057/s41283-020-00059-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高部 勲, 山下 智志	4. 巻 78
2. 論文標題 企業データの統計的マッチングおよびその精度改善	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 統計研究彙報	6. 最初と最後の頁 21-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 南 和宏	4. 巻 71(8)
2. 論文標題 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの活動状況と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 美添 泰人	4. 巻 71(3)
2. 論文標題 日本統計学会と統計検定	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Sano, N.	4. 巻 -
2. 論文標題 Synthetic Data by Principal Component Analysis	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proc. of 20th IEEE International Conference on Data Mining Workshops 2020	6. 最初と最後の頁 101-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/icdmw51313.2020.00023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡本 基, 山下 智志	4. 巻 -
2. 論文標題 「国際ミクロ統計データベース」の整備と課題	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 統計関連学会連合大会講演報告集	6. 最初と最後の頁 120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 稲垣 佑典, 瀧川 裕貴, 大林 真也	4. 巻 35(1)
2. 論文標題 オンライン実験の進め方: クラウドソーシング・サービスを利用したオンライン実験を例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 理論と方法	6. 最初と最後の頁 128 144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11218/ojjams.35.128	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kato-Nitta, N., Inagaki, Y., Maeda, T. and Tachikawa, M.	4. 巻 2(1)
2. 論文標題 Effects of information on consumer attitudes towards gene-edited foods: a comparison between livestock and vegetables	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 CABI Agriculture and Bioscience	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s43170-021-00029-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 稲垣 佑典, 加藤 直子, 前田 忠彦, 立川 雅司	4. 巻 36(2)
2. 論文標題 Web調査における不適切回答行動の実態把握と対応策の検討: 潜在ランク分析による回答傾向の分類階級を用いて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 理論と方法	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hertog, E., Kan, M.Y., Shirakawa, K. and Chiba, R.	4. 巻 52(2)
2. 論文標題 Do Better-Educated Couples Share Domestic Work More Equitably in Japan.? It Depends on the Day of the Week	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JCFS Special Issue on Gender and Unpaid Work. 2021.	6. 最初と最後の頁 271-310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3138/jcfs-52-2-006	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 白川 清美, 田中 雅行	4. 巻 320
2. 論文標題 公的統計の二次的利用によるビッグデータ分析のすすめ (特集 公的統計マイクロデータを利用した研究)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 ESTRELA	6. 最初と最後の頁 9-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 白川 清美	4. 巻 71(8)
2. 論文標題 匿名データにおける学術研究目的での利用経験を活かした高等教育目的への拡張 (特集 ミクロデータによる実証分析 - 公的マイクロデータの利活用の現状と課題)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 樺 広計	4. 巻 70(4)
2. 論文標題 「行政におけるデータ利活用の動向」に当たって：データ利活用とEBPM (特集 行政におけるデータ利活用の動向)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 2-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 樺 広計	4. 巻 70(6)
2. 論文標題 公的統計に必要なマネジメントシステム (統計の信頼性向上をめざして)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanoue, Y. and Yamashita, S.	4. 巻 21
2. 論文標題 Loss given default estimation: a two-stage model with classification tree-based boosting and support vector logistic regression	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Risk	6. 最初と最後の頁 19-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21314/JOR.2019.405	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Minami and Yutaka Abe	4. 巻 12(8)
2. 論文標題 Algorithmic Matching Attacks on Optimally Suppressed Tabular Data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Algorithms	6. 最初と最後の頁 165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/a12080165	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 美添 泰人	4. 巻 70(6)
2. 論文標題 公的統計の役割と人材の育成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 2-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 美添 泰人	4. 巻 70(10)
2. 論文標題 日本統計学会臨時委員会報告について (その1)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 2-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 美添 泰人	4. 巻 70(11)
2. 論文標題 日本統計学会臨時委員会報告について (その2)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 2-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kei Miyazaki, Takahiro Hoshino and Ulf Bockenholt	4. 巻 39(3)
2. 論文標題 Dynamic two stage modeling for category-level and brand-level purchases using potential outcome approach with Bayes inference	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Business & Economic Statistics	6. 最初と最後の頁 622-635
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/07350015.2019.1702047	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuya Shimizu, Takahiro Hoshino	4. 巻 8(1)
2. 論文標題 Doubly Robust-type Estimation of Population Moments or Parameters in Biased Sampling	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Stat	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/sta4.241	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐野 夏樹, 服部 雄太	4. 巻 77
2. 論文標題 モデルの判別精度によるグローバルリコーディングの有用性評価	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 統計研究彙報	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Natsuki Sano, Yuta Hattori	4. 巻 -
2. 論文標題 Utility evaluation measures for categorical data by classification performance	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proc. of 19th IEEE International Conference on Data Mining Workshops 2019	6. 最初と最後の頁 356-361
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/ICDMW.2019.00059	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kolpashnikova, K., M.Y. Kan and K. Shirakawa	4. 巻 696
2. 論文標題 Marriage and Housework: Analyzing the Effects of Education Using the 2011 and 2016 Japanese Survey on Time Use and Leisure Activities	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hitotsubashi University IER Discussion Paper Series A	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kolpashnikova, K., M.Y. Kan and K. Shirakawa	4. 巻 695
2. 論文標題 Marriage Penalty: Unconditional Quantile Regression of Housework Participation in Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hitotsubashi University IER Discussion Paper Series A	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kamila Kolpashnikova, Ryota Chiba and Kiyomi Shirakawa	4. 巻 673
2. 論文標題 Socioeconomic Status and Housework: Cultural Differences in Participation in Routine Housework in Japan, Canada, and the US	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Institute of Economic Research, Hitotsubashi University. Discussion Paper Series A.	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 高井 勉, 田村 義保, 元山 育	4. 巻 31
2. 論文標題 新しく提案された空間点パターンのグラフィカルな分類方法であるAGsi-curveの数理的性質	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 計算機統計学	6. 最初と最後の頁 77-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Junchao Zhang	4. 巻 27(7)
2. 論文標題 Estimates of the Returns to Schooling in Taiwan: Evidence from a Regression Discontinuity Design	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Applied Economics Letters	6. 最初と最後の頁 533-538
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/13504851.2019.1638493	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 樫 広計	4. 巻 47(2/3)
2. 論文標題 データ駆動型社会の人と質とのマネジメント	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 応用統計学	6. 最初と最後の頁 89-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 篠 恭彦, 澤村 保則, 樫 広計	4. 巻 48(3)
2. 論文標題 JSQC規格JSQC Std89-001「公的統計調査のプロセス-指針と要求事項」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 品質	6. 最初と最後の頁 238-242
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 樫 広計	4. 巻 54(3)
2. 論文標題 公共データの分析と活用の実践に向けて行政における統計データの活用と展望	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 行政&情報システム	6. 最初と最後の頁 3-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 樫 広計	4. 巻 45
2. 論文標題 Quality Management から見たEvidence Bades Policy Making	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 評価クォーターリー	6. 最初と最後の頁 2-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 谷道 正太郎, 伊藤 弘人, 椿 広計	4. 巻 55
2. 論文標題 政府の統計データ活用推進の取組と地域統計データを活用した自治体の取組・変化の把握について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本・医療病院管理学会誌	6. 最初と最後の頁 130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下 雅代, 椿 広計, 飯島 信也	4. 巻 101(3)
2. 論文標題 教育用標準データセット (SSDSE) による探求型統計教育の促進ー総務省統計コミュニティの試みー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本数学教育学会誌「数学教育」	6. 最初と最後の頁 40-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 椿 広計, 曾田 雅人	4. 巻 76
2. 論文標題 リサンプリングによる労働力調査推定精度評価	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計研究研修所彙報	6. 最初と最後の頁 39-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高部 勲, 山下 智志	4. 巻 115
2. 論文標題 多項ロジットモデル及び主成分分析を用いた新たな統計的マッチング手法の提案	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 統計学	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 高部 勲, 山下 智志	4. 巻 65
2. 論文標題 B-スプライン及びAdaptive Group LASSOに基づく正則化非線形ロジットモデルによるデフォルト確率の推定	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 統計数理	6. 最初と最後の頁 295-317
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 南 和宏, 菊池 亮	4. 巻 75
2. 論文標題 オンサイト利用における持ち出し安全性基準及び審査方法	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計研究彙報	6. 最初と最後の頁 81-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 南 和宏	4. 巻 66(2)
2. 論文標題 位置情報軌跡の統計的プライバシー保護	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計数理	6. 最初と最後の頁 225-233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Minami and Yutaka Abe	4. 巻 4
2. 論文標題 A First Step towards Statistical Disclosure Control on Multiple Linked Tables	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Romanian Statistical Review	6. 最初と最後の頁 98-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 美添 泰人	4. 巻 69(6)
2. 論文標題 論考経済統計の改善について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 月刊「統計」	6. 最初と最後の頁 33-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ekaterina Hertog, Man Yee Kan, Kiyomi Shirakawa and Ryota Chiba	4. 巻 673
2. 論文標題 Do Better-Educated Couples Share Domestic Work More Equitably in Japan? It Depends on the Day of the Week	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Hitotsubashi University IER Discussion Paper Series A	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ryosuke Igari and Takahiro Hoshino	4. 巻 126
2. 論文標題 Bayesian Data Combination Approach for Repeated Durations under Unobserved Missing Indicators	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Computational Statistics & Data Analysis	6. 最初と最後の頁 150-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.cstda.2018.04.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Kato and Takahiro Hoshino	4. 巻 72
2. 論文標題 Semiparametric Bayesian Multiple Imputation for Regression Models with Missing Mixed Continuous-Discrete Covariates	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Annals of the Institute of Statistical Mathematics	6. 最初と最後の頁 803-825
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10463-019-00710-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Natsuki Sano, Sari Aoki and Yusuke Ariyoshi	4. 巻 -
2. 論文標題 Social Media Marketing for Regional Activation: Case Study on the Onomichi Vacant Housing Renewal Project	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proc. of IEEE 5th Asia-Pacific World Congress on Computing Science 2018	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡本 基, 山下 智志	4. 巻 118(117)
2. 論文標題 公的統計マイクロデータの研究利活用推進支援	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 電子情報通信学会技術研究報告	6. 最初と最後の頁 13-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 元山 斉	4. 巻 70
2. 論文標題 有限母集団からの非復元単純無作為標本において中央値の漸近分布が正規分布以外となる一例	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 青山経済論集	6. 最初と最後の頁 31-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Junchao Zhang	4. 巻 50(45)
2. 論文標題 The Impact of 9-year Compulsory Education: Quasi-Experimental Evidence from Taiwan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Applied Economics	6. 最初と最後の頁 4866-4878
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/00036846.2018.1468553	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tin Yin, Zhigang Yin and Junchao Zhang	4. 巻 18-E-037
2. 論文標題 The Effect of Transportation Benefits on Health and Consumption Among the Elderly: Quasi-Experimental Evidence from Urban China	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 RIETI Discussion Paper	6. 最初と最後の頁 1-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Masao Takahashi, Mika Sato-Ilic and Motoi Okamoto	4. 巻 -
2. 論文標題 Estimation of Business Demography Statistics: A Method for Analyzing Job Creation and Destruction	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Intelligent Decision Technologies 2018	6. 最初と最後の頁 33-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-319-92028-3_4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松本 正博	4. 巻 76
2. 論文標題 同一母集団からの複数調査による母集団推定値の合成方法について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計研究彙報	6. 最初と最後の頁 71-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 和田 かず美, 野呂 竜夫	4. 巻 76
2. 論文標題 ロバスト回帰推定へのウェイト関数や残差尺度の影響について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 統計研究彙報	6. 最初と最後の頁 101-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岡 檀, 山内 慶太, 椿 広計	4. 巻 26(3)
2. 論文標題 在宅介護負担が増える要因の探索：社会生活基本調査・生活時間編を用いての検討	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本社会精神医学会雑誌	6. 最初と最後の頁 246-247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 椿 広計	4. 巻 32(3)
2. 論文標題 第1部統計・統計学と日本社会第4章日本的品質管理と統計科学	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ECO-FORUM	6. 最初と最後の頁 32-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 椿 広計	4. 巻 44(1)
2. 論文標題 繁柘算男教授のコメントに対して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 行動計量学	6. 最初と最後の頁 37-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 椿 広計	4. 巻 62(6)
2. 論文標題 オペレーションズ・マネジメントと質マネジメントによる価値共創を再び	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 オペレーションズ・リサーチ	6. 最初と最後の頁 370-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 樺 広計	4. 巻 69(1)
2. 論文標題 古典統計学対話：統計学から観た統計的機械学習	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 35-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanoue, Y. and Yamashita, S.	4. 巻 13(3)
2. 論文標題 When banks venture beyond home turf:consequences for loan performance	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Credit Risk	6. 最初と最後の頁 1-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21314/JCR.2017.225	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山下 智志, 藤山 秋佐夫, 吉野 諒三, 越前 功, 北本 朝展	4. 巻 No.422
2. 論文標題 データサイエンスによる大学との連携・協働、そして発展へ オープンサイエンスと協働が支える社会・ 人文学研究の新展開	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 文部科学 教育通信	6. 最初と最後の頁 22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanoue, Y., kawada, A. and Yamashita, S.	4. 巻 33
2. 論文標題 Forecasting loss given default of bank loans with multi-stage model	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Forecasting	6. 最初と最後の頁 513-522
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijforecast.2016.11.005.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高部 勲, 山下 智志	4. 巻 115
2. 論文標題 多項ロジットモデルを用いた新たな統計的マッチング手法の提案	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 統計学	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kazuhiro Minami and Yutaka Abe	4. 巻 4
2. 論文標題 Statistical Disclosure Control for Tabular Data in R	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Romanian Statistical Review	6. 最初と最後の頁 67-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 美添 泰人	4. 巻 66(1)
2. 論文標題 統計教育連携ネットワーク (JINSE) の展開	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 統計数理	6. 最初と最後の頁 177-186
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuto Yoshizoe, Masuo araki and Hitoshi Motoyama	4. 巻 40
2. 論文標題 Extensive Use of Official Statistics	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Aoyama Business Review	6. 最初と最後の頁 1-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 美添 泰人	4. 巻 32(3)
2. 論文標題 公的統計の課題と改革	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 ECO-FORUM	6. 最初と最後の頁 106-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsutomu Takai, Yoshiyasu Tamura and Hitoshi Motoyama	4. 巻 30
2. 論文標題 A New Graphical Approach to Classify Spatial Point Patterns based on Hierarchical Cluster Analysis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of the Japanese Society of Computational Statistics	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5183/jjscs.1611001_229	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hitoshi Motoyama and Kohei Tanaka	4. 巻 2059
2. 論文標題 Classical and quantum conditional measures from a categorical viewpoint	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 数理解析研究所(RIMS)講究録(京都大学)2059 「RIMS共同研究(公開型)量子システム推定の数理」	6. 最初と最後の頁 84-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 元山 斉	4. 巻 69
2. 論文標題 調査ウェイトを用いた加重最小2乗法におけるCp基準について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 青山経済論集	6. 最初と最後の頁 61-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 樺 広計	4. 巻 67(9)
2. 論文標題 統計を深く知る：専門統計家の役割	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 統計	6. 最初と最後の頁 38-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanoue, Y., Kawata, A., and Yamashita, S.	4. 巻 33
2. 論文標題 Forecasting loss given default of bank loans with multi-stage model	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 International Journal of Forecasting	6. 最初と最後の頁 513-522
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijforecast.2016.11.005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田 健太郎, 黒木 学	4. 巻 45
2. 論文標題 潜在反応モデルを利用した交通コンフリクト指標の定式化	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 応用統計学	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5023/jappstat.45.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Isozaki, Manabu Kuroki	4. 巻 35
2. 論文標題 Learning Causal Graphs with Latent Confounders in Weak Faithfulness Violations	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 New Generation Computing	6. 最初と最後の頁 29-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00354-016-0003-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Manabu Kuroki	4. 巻 43
2. 論文標題 The Identification of Direct and Indirect Effects in Studies with an Unmeasured Intermediate Variable	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scandinavian Journal of Statistics	6. 最初と最後の頁 228-245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/sjos.12176	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Manabu Kuroki, Takahiro Hayashi	4. 巻 43
2. 論文標題 On the Estimation Accuracy of Causal Effects using Supplementary Variables	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Scandinavian Journal of Statistics	6. 最初と最後の頁 505-519
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/sjos.12188	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyomi Shirakawa, Yutaka Abe, Shinsuke Ito	4. 巻 1
2. 論文標題 Creating an 'Academic Use File' Based on Descriptive Statistics: Synthetic Microdata from the Perspective of Distribution Type	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Privacy in Statistical Databases: UNESCO Chair in Data Privacy, International Conference, PSD 2016	6. 最初と最後の頁 149-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-319-45381-1_12	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kiyomi Shirakawa, Yutaka Abe, Shinsuke Ito	4. 巻 1
2. 論文標題 Empirical Analysis of Sensitivity Rules: Cells with Frequency Exceeding 10 that Should Be Suppressed Based on Descriptive Statistics	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Privacy in Statistical Databases: UNESCO Chair in Data Privacy, International Conference, PSD 2016	6. 最初と最後の頁 28-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-3-319-45381-1_3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 美添 泰人	4. 巻 46(2)
2. 論文標題 経済指標の作成に関する課題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本統計学会誌	6. 最初と最後の頁 173-191
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11329/jjssj.46.173	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 元山 斉	4. 巻 68
2. 論文標題 有限母集団からの非復元単純無作為標本に基づく中央値の漸近正規性の一証明	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 青山経済論集	6. 最初と最後の頁 67-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計168件 (うち招待講演 52件 / うち国際学会 32件)

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 企業データの統計的マッチング及びその精度改善の取組
3. 学会等名 日本分類学会第39回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 大規模低質データと小規模高質データのデータ結合による分析
3. 学会等名 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム2020 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 AIの最近の動向と金融業へ与える影響
3. 学会等名 CRDエグゼクティブセミナー（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 多項ロジットモデルに基づく公的統計データ及び企業データの統計的マッチング・データ融合
3. 学会等名 研究集会「大規模複雑データの理論と方法論の革新的展開」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 我が国の公的統計の二次的利用に関する最新状況及び研究の動向について
3. 学会等名 2020年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 長幡 英明, 山下 智志
2. 発表標題 配合飼料価格安定制度における補填発動リスクの計量化
3. 学会等名 2020年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 データ多様化時代のマイクロデータ結合技術と社会実装について
3. 学会等名 第15回日本統計学会春季集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野 元, 南 和宏
2. 発表標題 Toward Locally Private Logistic Regression with Missing Data
3. 学会等名 コンピュータセキュリティシンポジウム2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 南 和宏
2. 発表標題 差分プライバシーと匿名化
3. 学会等名 コンピュータセキュリティシンポジウム2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 南 和宏
2. 発表標題 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの取組みと今後の展望
3. 学会等名 2020年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡本 基, 山下 智志
2. 発表標題 「国際マイクロ統計データベース」の整備と課題
3. 学会等名 2020年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 瀧川 裕貴, 稲垣 佑典, 呂沢 宇, 中井 豊, 常松 淳, 阪本 拓人, 大林 真也
2. 発表標題 COVID-19流行下における社会・家族関係と感情変化の検討
3. 学会等名 第11回横幹連合コンファレンス
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 マイクロデータの利活用と国際連携
3. 学会等名 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム2020
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 日本と中国のジェンダーギャップにおけるデジタルトランスフォーメーションの有効性の検証
3. 学会等名 共同利用共同研究拠点プロジェクト研究及び、一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター・神戸大学マイクロデータセンター共催「匿名データ等利用推進ワークショップ」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 日本における四季別生活時間の変化の検証
3. 学会等名 2020年度一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター研究集会「マイクロデータから見た我が国の社会・経済の実像」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 在宅勤務の普及による家事労働時間の男女間格差の検証
3. 学会等名 2020年度一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター研究集会「マイクロデータから見た我が国の社会・経済の実像」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐藤 彰洋, 椿 広計
2. 発表標題 メッシュ統計の利活用方法とその課題
3. 学会等名 横幹連合コンファレンス(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroe Tsubaki
2. 発表標題 Using Statistics Bureau Japan Data at an onsite facility
3. 学会等名 Introduction to Data and Resources Available at Statsitics Bureau Japan(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 権 広計
2. 発表標題 EBPMにおけるマイクロデータ利用
3. 学会等名 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Hiroe Tsubaki
2. 発表標題 New Data Sources of Japanese Official Statistics in Big Data Era
3. 学会等名 The 11th International Workshop on Analysis of Micro Data of Official Statistics - A new approach of micro-data analysis through international cooperation -（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 権 広計
2. 発表標題 公的統計課題解決の一助として
3. 学会等名 JIS Y 20252 発行記念講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 日本経済新聞社 APPLIED AI SUMMIT
3. 学会等名 AIが金融におけるデジタル革命の潮流を起こす ～発想を変える～（パネルディスカッション登壇）（招待講演）
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 園田 桂子, 山下 智志
2. 発表標題 銀行 企業間貸出マッチデータを用いた取引関係の変化の要因分析
3. 学会等名 2019年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下智志
2. 発表標題 セッションテーマ解説：マイクロデータに関する構造化技術と意思決定
3. 学会等名 2019年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 データサイエンスとは？その潮流と金融業への影響
3. 学会等名 CRDエグゼクティブセミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 データサイエンスとはなにか？～その潮流と銀行業への影響
3. 学会等名 セミナーインフォ EXECTIVE CONFERENCE 地域金融機関におけるデジタル化の進展（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Minami and Yutaka Abe
2. 発表標題 Algorithmic Matching Attacks on Optimally Suppressed Tabular Data
3. 学会等名 Joint UNECE/Eurostat Work Session on Statistical Data Confidentiality (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南 和宏
2. 発表標題 表データの最適セル秘匿処理に対するマッチング攻撃の実証的評価
3. 学会等名 2019年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南 和宏
2. 発表標題 公的マイクロデータのプライバシー保護のための秘匿審査
3. 学会等名 2019年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南 和宏, 阿部 穂日
2. 発表標題 表データの最適セル秘匿処理に対するマッチング攻撃とその実証的評価
3. 学会等名 コンピュータセキュリティシンポジウム2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 南 和宏
2. 発表標題 公的マイクロデータのプライバシー保護のための秘匿審査
3. 学会等名 コンピュータセキュリティシンポジウム2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Minami
2. 発表標題 Data De-identification Technology to Ensure a Proper Balance Between Data Utility and Privacy Protection
3. 学会等名 16th DIA Japan Annual Meeting
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿部 穂日, 南 和宏
2. 発表標題 表データのセル秘匿問題に対する非決定論的手法の有効性評価
3. 学会等名 暗号と情報セキュリティシンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 美添 泰人
2. 発表標題 指数の理論と実際
3. 学会等名 2019年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Natsuki Sano
2. 発表標題 Utility evaluation of global recoding by accuracy of discrimination model
3. 学会等名 The 7th Conference on the Use of R in Official Statistics (uRos2019) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐野 夏樹
2. 発表標題 モデルの判別精度によるグローバルリコーディングの有用性評価
3. 学会等名 経済統計学会第63回全国研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Natsuki Sano, Yuta Hattori
2. 発表標題 Utility evaluation measures for categorical data by classification performance
3. 学会等名 19th IEEE International Conference on Data Mining Workshops 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡本 基
2. 発表標題 公的統計二次的利用のためのリモートアクセス対応オンサイト施設の整備と構築
3. 学会等名 IPSJ-SPT/IPSJ-GN/IEICE-LOIS合同研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡本 基, 山下 智志
2. 発表標題 情報・システム研究機構におけるオンサイト施設の整備と構築 - 公的統計マイクロデータリモートアクセス型利用と「国際マイクロ統計データベース」 -
3. 学会等名 2019年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 Rパッケージによるメタデータの付与とデータ特有の性質に適した分析方法の検証
3. 学会等名 2019年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 統計センターが提供するマイクロデータ利用サービスについて
3. 学会等名 2019年度経済統計学会全国研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyomi Shirakawa
2. 発表標題 Trial of R training for technical supports to third countries
3. 学会等名 uRos 2019The R Project - The Use of R in Official Statistics - (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyomi Shirakawa
2. 発表標題 The influence of housework hours on female labor force and its future measures in Japan
3. 学会等名 IATUR (International Association for Time Use Research) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kiyomi Shirakawa
2. 発表標題 Hierarchical Clustering for Anonymization of Economic Survey Data
3. 学会等名 The 2019 conference of the International Federation of Classification Societies (IFCS) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤 弘人, 谷道 正太郎, 樫 広計
2. 発表標題 統計データ利活用センターと職業災害医療モニタリング
3. 学会等名 日本職業・災害医学学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤 彰洋, 樫 広計
2. 発表標題 データ利活用基盤とグローバル観光サービスデザイン
3. 学会等名 横幹連合コンファレンス
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aki-Hiro Sato, Shoki Nishimura, Tsuyoshi Namiki, Naoki Makita and Hiroe Tsubaki
2. 発表標題 World Grid Square Data Reference Framework and its Potential Applications
3. 学会等名 2018 IEEE 42nd Annual Computer Software and Applications Conference(COMPSAC) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 椿 広計
2. 発表標題 リサンプリング法に基づく労働力統計の誤差評価
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 椿 広計
2. 発表標題 SSDSE (統計教育用標準データセット) による社会課題解決型データサイエンス教育
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 AIと機械学習の直感的理解と金融への応用
3. 学会等名 日本銀行金融機構局金融高度化センターWS (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 信用リスクの基礎、応用、最近の話題
3. 学会等名 国際協力銀行 信用リスクセミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 ビッグデータ時代におけるデータベース結合の目的・方法・効果
3. 学会等名 2018年統計関連学会連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 アパートローンとアパートの収益評価に関する2つの調査とモデリング
3. 学会等名 地方銀行協会 信用リスク管理研究会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 コンソーシアム活動報告とデータ構造化
3. 学会等名 公的マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム2018（招待講演）
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 人工知能・機械学習ブームにおける信用リスク管理のあり方
3. 学会等名 CRDエグゼクティブセミナー（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 ビッグデータ時代における企業データの統計的名寄せ手法
3. 学会等名 リスク解析戦略研究センター第6回金融シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 金融業における企業プロファイリングデータベースの作成と政府データ
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 多項ロジットモデルに基づく企業データの統計的マッチング
3. 学会等名 2018年度JAFEE夏季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 公的統計マイクロデータを用いた多項ロジットモデルに基づく統計的マッチング
3. 学会等名 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム2018 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 ロジットモデルを用いた複数企業データベースの結合方法
3. 学会等名 2018年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 多項ロジットモデルを用いた統計的マッチング
3. 学会等名 日本分類学会第37回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 多項ロジットモデルを用いた新たな統計的マッチング手法の提案
3. 学会等名 第12回日本統計学会春季集会 (ポスター発表)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南 和宏, 阿部 穂日
2. 発表標題 A First Step towards Statistical Disclosure Control on Multiple Linked Tables
3. 学会等名 暗号と情報セキュリティシンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazuhiro Minami
2. 発表標題 Extended Cell Suppression Problem Towards Better Data Utility
3. 学会等名 International Workshop on Data Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南 和宏, 阿部 穂日
2. 発表標題 集計表セル秘匿問題の拡張によるデータ効用保持の有効性評価
3. 学会等名 コンピュータセキュリティシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiro Minami, Yutaka Abe
2. 発表標題 Extended Cell Suppression Problem Towards Better Data Utility
3. 学会等名 Privacy in Statistical Databases (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiro Minami and Yutaka Abe
2. 発表標題 A First Step towards Statistical Disclosure Control on Multiple Linked Tables
3. 学会等名 6th International Joint Conference New Challenges for Statistical Software - The Use of R in Official Statistics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kazuhiro Minami
2. 発表標題 Statistical Disclosure Control on Tabular Data
3. 学会等名 NTNU-ISM Joint Workshop on Sustainability and Statistical Machine Learning (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 南 和宏
2. 発表標題 表データのセル秘匿処理におけるアルゴリズム攻撃の実証的評価
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuto Yoshizoe
2. 発表標題 The role of Japanese Inter-organizational Network for Statistics Education (JINSE)
3. 学会等名 10th International Conference on Teaching Statistics (ICOTS10) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 美添 泰人
2. 発表標題 拡大版JINSE の現状
3. 学会等名 2018年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 美添 泰人
2. 発表標題 統計教育連携ネットワーク(JINSE) の今後
3. 学会等名 第12回日本統計学会春季集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 舟岡 史雄, 美添 泰人
2. 発表標題 公的統計の品質の確保に向けて
3. 学会等名 第12回日本統計学会春季集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 美添 泰人, 元山 斉
2. 発表標題 企業統計に関する母集団情報の比較について
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 李 敏杰, 白川 清美
2. 発表標題 日本の共働き夫婦の生活行動が女性管理職に与える影響に関する実証分析
3. 学会等名 平成30年度研究集会「マイクロデータから見た我が国の社会・経済の実像」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 張 一鼎, 白川 清美
2. 発表標題 来日観光客の手配方法の実態と日本宿泊業の雇用問題
3. 学会等名 平成30年度研究集会「マイクロデータから見た我が国の社会・経済の実像」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kiyomi Shirakawa
2. 発表標題 Is it possible to reduce domestic work hours among Japanese women?
3. 学会等名 National Taipei University, Taipei, Taiwan, October 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kiyomi Shirakawa
2. 発表標題 The influence of Japanese wife's domestic work hours given by simplification of meal management
3. 学会等名 40th IATUR Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千葉 亮太, 阿部 穂日, 白川 清美
2. 発表標題 匿名データ作成のための最適な境界値：経済統計データに基づく実証分析
3. 学会等名 2018年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石田 和也, 白川 清美
2. 発表標題 高齢者における貧困リスクの予測分析
3. 学会等名 2018年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 張 一鼎, 白川 清美
2. 発表標題 訪日観光客がもたらす地域観光業における労働市場への影響
3. 学会等名 2018年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 李 敏杰, 白川 清美
2. 発表標題 家電製品が近未来における日本の女性に与える家事労働時間への影響
3. 学会等名 2018年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 女性の家事労働時間と就業に関する実証分析
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐野 夏樹
2. 発表標題 モデルの判別精度によるグローバルリコーディングの有用性評価
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡本 基, 山下 智志
2. 発表標題 公的統計マイクロデータの研究利活用推進支援
3. 学会等名 IEICE-LOIS/IPSJ-DC合同研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高 準亨, 元山 斉, 佐志田 晶夫
2. 発表標題 Financial Stability, Impossible Trinity, and Macroprudential Policy
3. 学会等名 日本経済学会秋季大会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 Junchao Zhang
2. 発表標題 The Effect of Transportation Benefits on Health and Consumption Among the Elderly: Quasi-Experimental Evidence from Urban China
3. 学会等名 ISI-ISM-ISSAS Joint Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kazumi Wada, Mariko Kawano, Hiroe Tsubaki
2. 発表標題 Comparison of multivariate outlier detection methods for nearly elliptically distributed data
3. 学会等名 Use of R in Official Statistics 2018 (uRos2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 松本 正博
2. 発表標題 同一母集団からの複数調査による母集団推定値の合成方法
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 床 裕佳子, 佐藤 美佳
2. 発表標題 自動格付のための多クラス分類器の研究について
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Man Yee Kan and Ekaterina Hertog
2. 発表標題 Education and domestic work contributions between 1996 and 2006 in Japan
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Eun Ki-Soo
2. 発表標題 How to Correctly Measure Sleep Duration?
3. 学会等名 科研費研究集会「政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成」(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 椿 広計
2. 発表標題 ビッグデータ時代の統計的心得 - モデリングと機械学習
3. 学会等名 計測自動制御学会産業部門大会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤 彰洋, 西村 正貴, 椿 広計
2. 発表標題 世界メッシュコードに基づく各種データの可視化定量化基盤
3. 学会等名 2017年統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 佐藤 彰洋, 西村 正貴, 椿 広計
2. 発表標題 世界メッシュコードに基づく各種データの可視化
3. 学会等名 第16回情報科学技術フォーラム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木 知道, 椿 広計
2. 発表標題 日本品質管理学会が支援する統計的方法の標準化
3. 学会等名 2017年統計関連学会連合大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 椿 広計
2. 発表標題 データによる問題解決人材育成 - 総務省EBPM研修への日本品質管理学会の取り組み-
3. 学会等名 統計数理研究所公募型共同利用研究集会「官民オープンデータ利活用の動向及び人材育成の取組」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 椿 広計
2. 発表標題 統計ミクロデータ利活用の意義：経済的統計から統計的経営への転換
3. 学会等名 データサイエンティスト協会 4thシンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Aki-Hiro Sato, Shoki Nishimura and Hiroe Tsubaki
2. 発表標題 World Grid Square Codes: Definition and an example of world grid square data
3. 学会等名 2017 IEEE International Conference on Big Data (Big Data) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroe Tsubaki
2. 発表標題 New Data Source including Big Data
3. 学会等名 Statistical Institute for Asia and the Pacific and SBJ Coorganized Seminar on Statistical Capacity Building for New Data Sources (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Aki-Hiro Sato, Shoki Nishimura, Naoki Makita and Hiroe Tsubaki
2. 発表標題 World Grid Square Statistics and their Application to Data Analytics
3. 学会等名 Joint UNECE/UN-GGIM Workshop on Integrating Geospatial and Statistical Standards (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroe Tsubaki, Kazumi Wada and Yukako Toko
2. 発表標題 An extension of Taguchi 's T method and standardized misclassification rate for supervised classification with only binary inputs
3. 学会等名 15th Asian Network for Quality Congress 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 金融機関のリスク管理における人工知能・機械学習(1)
3. 学会等名 CRD信用リスク管理セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 金融機関のリスク管理における人工知能・機械学習(2)
3. 学会等名 CRD信用リスク管理セミナー（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takabe, I. and Yamashita, S.
2. 発表標題 A New Statistical Matching Methodology Using Multinomial Logistic Regression and Multivariate Analysis
3. 学会等名 International Federation of Classification Societies (IFCS)（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 非線形・正則化ロジットモデルに基づく企業のデフォルト確率予測
3. 学会等名 第47回 2017年度夏季JAFEE大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 宮本 道子, 安藤 雅和, 山下 智志
2. 発表標題 欠測値を含む大規模財務データを用いたコピュラによる企業の信用リスク評価について (Copula-Based Credit Risk Assessment for a Large Scale Small to Medium Enterprises' Financial Data including Missing Values)
3. 学会等名 2017年統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 多項ロジットモデル及び主成分分析を用いた統計的マッチング手法の提案
3. 学会等名 2017年統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 園田 桂子, 山下 智志
2. 発表標題 銀行 - 企業間貸出マッチデータをを用いた取引関係の変化の要因分析
3. 学会等名 2017年統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高部 勲, 山下 智志
2. 発表標題 多項ロジットモデル及び主成分分析を用いた新たな統計的マッチング手法の提案
3. 学会等名 経済統計学会 2017年 (第61回) 全国研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 マイクロデータ分析の近未来と我々の役割
3. 学会等名 統計数理研究所公募型共同利用研究集会「官民オープンデータ利活用の動向及び人材育成の取組」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 データベース結合における統計学的問題の分類と定義
3. 学会等名 政府統計マイクロデータの構造化と研究プラットフォームの形成 平成29年第2回研究班会議(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 医療・健康科学における統計リテラシー：情報システム研究機構統計数理研究所の取り組み
3. 学会等名 第51回横幹技術フォーラム(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡本 基, 山下 智志
2. 発表標題 国際マイクロ統計データベースの整備と利用
3. 学会等名 2017年統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazuhiro Minami and Yutaka Abe
2. 発表標題 Statistical Disclosure Control for Tabular Data in R
3. 学会等名 5th International Joint Conference New Challenges for Statistical Software - The Use of R in Official Statistics (uRos2017) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Ryo Kikuchi and Kazuhiro Minami
2. 発表標題 On-site Service and Safe Output Checking in Japan
3. 学会等名 Joint UNECE/Eurostat Work Session on Statistical Data Confidentiality (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南 和宏, 菊池 亮
2. 発表標題 調査票情報のオンサイト利用における分析結果の持ち出し基準について
3. 学会等名 経済統計学会 第61回全国研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 南 和宏
2. 発表標題 An implementation of a cell suppression algorithm for tabular data in R and its challenges
3. 学会等名 2017年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年



1. 発表者名 Yasuto Yoshizoe
2. 発表標題 Comparison of two corporation surveys conducted by Japanese government
3. 学会等名 Japanese Joint Statistical Meeting
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 水谷 傑, 鶴崎 敬大, 岡本 洋明, 中上 英俊, 美添 泰人, 土屋 隆裕
2. 発表標題 混合モード調査の統合集計方法の検討
3. 学会等名 2017年統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 美添 泰人
2. 発表標題 拡大版JINSEの現状
3. 学会等名 第12回日本統計学会春季集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 美添 泰人
2. 発表標題 公的統計改革の現状と展望
3. 学会等名 第12回日本統計学会春季集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 Challenges in improving the quality and amount of statistical utilization -New uses of official statistics in Japan
3. 学会等名 ISI 2017 MARRAKECH 61st World Statistics Congress (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 記述統計量に基づく秘匿すべき回帰モデルの検証
3. 学会等名 2017年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平川 竜成, 白川 清美
2. 発表標題 匿名データに基づいた生活行動における嗜好が未婚率に与える影響の分析
3. 学会等名 2017年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高橋 慧, 千田 浩司, 白川 清美
2. 発表標題 秘密計算及び統計的開示制御を組み合わせたセキュアな統計処理システムの提案
3. 学会等名 2017年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 石田 和也, 白川 清美
2. 発表標題 日本の相対的貧困世帯における生活環境の実証分析
3. 学会等名 2017年度統計関連学会連合大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白川 清美, 阿部 穂日
2. 発表標題 SDCに基づく線形回帰係数の安全性の検証
3. 学会等名 第61回経済統計学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白川 清美, 高橋 慧, 千田 浩司
2. 発表標題 経済統計分析への秘密計算技術適用に向けた一考察
3. 学会等名 第61回経済統計学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 A Proposal of a Simple and Secure Statistical Processing System using Secret Sharing
3. 学会等名 Joint UNECE/Eurostat Work Session on Statistical Data Confidentiality (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kiyomi Shirakawa, Koji Chida, Satoshi Takahashi, Satoshi Tanaka, Ryo Kikuchi, Dai Ikarashi
2. 発表標題 Analysis Of Official Microdata Using Secure Statistical Computation System
3. 学会等名 New Zealand Statistical Association and the International Association of Statistical Computing Joint Conference 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 Approach of Hitotsubashi University based on the secondary use of official statistics
3. 学会等名 名古屋大学附属国際経済政策研究センター研究会兼・過程設定型ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 マイクロデータの利用拡大に向けた各機関の取組み
3. 学会等名 平成29年度 KUMiCマイクロデータ利用促進ワークショップ 「公的統計マイクロデータを用いた研究と二次的利用の概要」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 最適化
3. 学会等名 平成29年度研究集会 「政府統計の二次的利用研究会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 アジアを取り巻く貧困と所得格差
3. 学会等名 平成29年度研究集会 「日本と開発途上国における貧困問題と都市化の実証分析に関する研究会」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野間 久史
2. 発表標題 多変量メタアナリシスにおける高次漸近理論を用いた推測手法
3. 学会等名 科研費シンポジウム「生命・自然科学における複雑現象解明のための統計的アプローチ」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高井 勉, 田村 義保, 元山 斉
2. 発表標題 AGsi-curveによる空間点パターンの分類とその数理的背景
3. 学会等名 日本計算機統計学会 第31回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 坂本 智幸, 元山 斉
2. 発表標題 Energy Saving Potential of Replacing the Old Refrigerator: Evidence from Comparative Case Study of Japanese Household
3. 学会等名 日本経済学会 2017年度秋季大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Hiroe Tsubaki
2. 発表標題 Statistical Thinking for Quality Management - Historical Principles and New Roles
3. 学会等名 Asian Network for Quality 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 橋 広計
2. 発表標題 英日統計科学源流談義
3. 学会等名 日本品質管理学会第98回クオリティトーク (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 橋 広計
2. 発表標題 ビッグデータ時代だからこそ求められること
3. 学会等名 SASユーザー総会2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 橋 広計
2. 発表標題 品質マネジメントの過去・現在・将来
3. 学会等名 第7回横幹連合コンファレンス (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 佐藤 彰洋, 椿 広計
2. 発表標題 世界メッシュコードの提案と世界メッシュ統計の作成及び利活用
3. 学会等名 第1回計算社会科学ワークショップ
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 椿 広計
2. 発表標題 Statistics 4.0の試み
3. 学会等名 科研費集会「応用統計学のひろがり」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 椿 広計
2. 発表標題 公的統計マイクロデータの研究利用への取り組みと可能性
3. 学会等名 人間・社会データ構造化シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大井 達雄, 椿 広計
2. 発表標題 平成18年社会生活基本調査による旅行・行楽行動の要因分析
3. 学会等名 経済統計学会関西支部11月例会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 賃貸住宅の空室率要因分析とアパートローンのリスク計量化モデルの開発(1)
3. 学会等名 CRD信用リスク管理セミナー(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 賃貸住宅の空室率要因分析とアパートローンのリスク計量化モデルの開発(2)
3. 学会等名 CRD信用リスク管理セミナー(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 政府統計データを用いた非集計分析の活用事例
3. 学会等名 科研費研究集会: 政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成(招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山下 智志, 岡本 基
2. 発表標題 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムによる高等教育研究支援
3. 学会等名 2016年度 統計関連学会連合大会
4. 発表年 2016年



1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 リスク科学と目的・データ・統計的方法論
3. 学会等名 2016年度 統計関連学会連合大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 金融機関データに関する人工知能と機械学習の これまでとこれから
3. 学会等名 日本アクチュアリー会年次大会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 A new approach of micro-data analysis through international cooperation
3. 学会等名 The 8th International Workshop on Analysis of Micro Data of Official Statistics（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 データ構造化プロジェクトの意義と方向性について
3. 学会等名 科研費研究集会：政府統計マイクロデータの構造化と研究利用プラットフォームの形成（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 企業の成長要因の構造分析と成長率予測の同時推計
3. 学会等名 中小企業等の事業性評価に向けたモデル構築調査事業（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 山下 智志
2. 発表標題 データ構造化とは何か？
3. 学会等名 人間・社会データ構造化シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渡邊 隼史，一藤 裕，鈴木 雅人，山下 智志
2. 発表標題 Webデータとサーベイデータの融合：地方圏における住宅投資リスク評価の実験
3. 学会等名 人間・社会データ構造化シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 黒木 学
2. 発表標題 選言的知識に基づく線形反事実分析
3. 学会等名 日本品質管理学会第110回研究発表会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山下 遥, 黒木 学
2. 発表標題 データの線形構造を考慮したクラスタリング法とそのビジュアル化について
3. 学会等名 日本経営工学会2016年度春季研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 山田 健太郎, 黒木 学
2. 発表標題 反事実モデルに基づく確率的品質改善尺度の定式化とその有用性
3. 学会等名 日本品質管理学会第112回研究発表会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岡本 基, 山下 智志
2. 発表標題 「国際マイクロ統計データベース」の利活用について
3. 学会等名 2016年度 統計関連学会連合大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 岡本 基
2. 発表標題 情報・システム研究機構における公的統計マイクロデータ二次的利用推進のための取り組み
3. 学会等名 人間・社会データ構造化シンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 中松 建, 白川 清美
2. 発表標題 数量表への汎用的な秘匿ルールの適用
3. 学会等名 2016年度 統計関連学会連合大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 阿部 穂日, 千葉 亮太, 白川 清美
2. 発表標題 匿名データの作成のためのリコーディング
3. 学会等名 2016年度 統計関連学会連合大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 白川 清美
2. 発表標題 大規模データベースに基づく 秘匿すべきセルの抽出
3. 学会等名 2016年度 統計関連学会連合大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kiyomi Shirakawa, Yutaka Abe, Shinsuke Ito
2. 発表標題 Empirical Analysis of Sensitivity Rules: Cells with Frequency Exceeding 10 that Should Be Suppressed Based on Descriptive Statistics
3. 学会等名 Privacy in Statistical Databases (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Kiyomi Shirakawa, Yutaka Abe, Shinsuke Ito
2. 発表標題 Creating an 'Academic Use File' Based on Descriptive Statistics: Synthetic Microdata from the Perspective of Distribution Type
3. 学会等名 Privacy in Statistical Databases ( 国際学会 )
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 坂本 智幸, 元山 斉
2. 発表標題 Causal Effect of Replacement into Newly Refrigerator on Electricity Consumption in Household
3. 学会等名 2016年度 統計関連学会連合大会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計10件

1. 著者名 スコット・E・ページ, 椿 広計, 長尾 高弘	4. 発行年 2020年
2. 出版社 森北出版	5. 総ページ数 432
3. 書名 多モデル思考 : データを知恵に変える24の数理モデル	

1. 著者名 岩崎 学, 西郷 浩, 田栗 正章, 中西 寛子(編), 美添 泰人, 荒木 万寿夫, 元山 斉(著)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 培風館	5. 総ページ数 238
3. 書名 スタンダード 経済データの統計分析	

1. 著者名 舟岡 史雄, 椿 広計, 美添 泰人 他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本統計学会	5. 総ページ数 58
3. 書名 公的統計に関する臨時委員会 報告書 第一部 毎月勤労統計調査の不正をめぐる事案に関する見解	

1. 著者名 舟岡 史雄, 椿 広計, 美添 泰人 他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本統計学会	5. 総ページ数 115
3. 書名 公的統計に関する臨時委員会 報告書 第二部 公的統計の改善に向けた本委員会の見解と提言	

1. 著者名 M. Lovric (編), 日本統計学会 (訳)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 全2130ページ (美添泰人: 13項目を翻訳)
3. 書名 統計科学百科事典	

1. 著者名 国友 直人・山本 拓 (編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 全304ページ (美添泰人: 第13章の執筆を担当)
3. 書名 統計と日本社会: ビッグデータ時代の展開	

1. 著者名 寺本 顕武, 椿 広計	4. 発行年 2018年
2. 出版社 コロナ社	5. 総ページ数 277
3. 書名 計測のための統計	

1. 著者名 白川 清美, 千葉 亮太	4. 発行年 2018年
2. 出版社 一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター	5. 総ページ数 49
3. 書名 世帯主の年齢各歳別の家計収支 (統計資料シリーズ No.7)	

1. 著者名 美添 泰人, 竹村 彰通, 宿久 洋 (編)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 日本評論社	5. 総ページ数 243
3. 書名 現代統計学	

1. 著者名 景山 三平 (監修), 元山 斉, 伊藤 有希, 高橋 一 (編)	4. 発行年 2016年
2. 出版社 実教出版	5. 総ページ数 188
3. 書名 事例でわかる統計シリーズ 経済・経営系のための統計入門	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

## 6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山下 智志 (Yamashita Satoshi) (50244108)	統計数理研究所・データ科学研究系・教授  (62603)	
研究分担者	南 和宏 (Minami Kazuhiro) (10579410)	統計数理研究所・データ科学研究系・教授  (62603)	
研究分担者	田中 雅行 (Tanaka Masayuki) (00843773)	一橋大学・経済研究所・准教授  (12613)	
研究分担者	美添 泰人 (Yoshizoe Yasuto) (80062868)	公益財団法人統計情報研究開発センター・その他部局等・客員上席研究員  (82662)	
研究分担者	星野 崇宏 (Hoshino Takahiro) (20390586)	慶應義塾大学・経済学部(三田)・教授  (32612)	
研究分担者	佐野 夏樹 (Sano Natsuki) (60568971)	東京情報大学・総合情報学部・准教授  (32515)	
研究分担者	岡本 基 (Okamoto Motoi) (90599870)	統計数理研究所・運営企画本部・URA  (62603)	
研究分担者	久保田 貴文 (Kubota Takafumi) (30379705)	多摩大学・経営情報学部・准教授  (32695)	



## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	稲垣 佑典  (Inagaki Yusuke)  (30734503)	統計数理研究所・データ科学研究系・特任助教   (62603)	
研究 分担者	白川 清美  (Shirakawa Kyomi)  (20755095)	一橋大学・経済研究所・准教授   (12613)	
研究 分担者	黒木 学  (Kuroki Manabu)  (60334512)	統計数理研究所・データ科学研究系・教授   (62603)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 協力者	張 俊超  (Zhang Junchao)		
研究 協力者	植松 良和  (Uematsu Yoshikazu)		
研究 協力者	中村 英昭  (Nakamura Hideaki)		
研究 協力者	佐藤 智哉  (Sato Tomoya)		

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	平澤 鋼一郎  (Hirazawa Kouichiro)		
研究協力者	高部 勲  (Takabe Isamu)		
研究協力者	坂下 信之  (Sakashita Nobuyuki)		
研究協力者	小林 良行  (Kobayashi Yoshiyuki)		
研究協力者	山口 幸三  (Yamaguchi Kozo)		
研究協力者	滝澤 有美  (Takizawa Yumi)		
研究協力者	谷道 正太郎  (Tanimichi Shoutaro)		
研究協力者	角田 敏  (Sumida Satoshi)		

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	奥積 雅彦  (Okuzumi Masahiko)		
研究協力者	新田 栄治  (Nitta Eiji)		
研究協力者	三神 均  (Mikami Hitoshi)		
研究協力者	和田 かず美  (Wada Kazumi)		
研究協力者	井原 一  (Ihara Hajime)		
研究協力者	北林 三就  (Kitabayashi Mitsunari)		
研究協力者	千葉 亮太  (Chiba Ryota)		
研究協力者	松本 幸雄  (Matsumoto Yukio)		

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	堀 芳樹  (Hori Houju)		
研究協力者	竹村 和久  (Takemura Kazuhisa)		
研究協力者	大浦 修  (Oura Osamu)		
研究協力者	宮内 亨  (Miyuchi Toru)		
研究協力者	田中 久睦  (Tanaka Hisachika)		
研究協力者	山形 成彦  (Yamagata Naruhiko)		
研究協力者	高橋 雅夫  (Takahashi Masao)		
研究協力者	長尾 伸一  (Nagao Shinichi)		

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	松本 正博  (Matsumoto Masahiro)		
研究協力者	飯島 信也  (Iijima Shinya)		
研究協力者	田村 義保  (Tamura Yoshiyasu)		
研究協力者	高井 勉  (Takai Tsutomu)		
研究協力者	武藤 杏里  (Muto Anri)		
研究協力者	山下 雅代  (Yamashita Masayo)		
研究協力者	高橋 淳一  (Takahashi Junichi)		
研究協力者	伊藤 孝之  (Ito Takayuki)		

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	中山 史野  (Nakayama Fumiya)		
研究協力者	小佐野 郁子  (Osano Ikuko)		
研究協力者	岡 檀  (Oka Mayumi)		
研究協力者	田村 彰浩  (Tamura Akihiro)		
研究協力者	村田 誠英  (Murata Takahide)		
連携研究者	野間 久史  (Noma Hisashi)  (70633486)	統計数理研究所・データ科学研究系・准教授    (62603)	
連携研究者	元山 斉  (Motoyama Hitoshi)  (20383490)	青山学院大学・経済学部・教授    (32601)	
連携研究者	阿部 穂日  (Abe Yutaka)  (00755085)	一橋大学・経済研究所社会科学統計情報研究センター・助教    (12613)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計7件

国際研究集会 Rを使った公的統計の集計に関する研究会	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 講演会「オックスフォードからみた日本の統計教育」	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 統計的開示抑制のための合成データ生成	開催年 2020年～2020年
国際研究集会 2017 IASC-ARS/NZSA Conference & Workshops	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 ISI 2017 MARRAKECH 61st World Statistics Congress	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 人口統計セミナー	開催年 2016年～2016年
国際研究集会 ビッグデータのためのシステム設計等に関する研究	開催年 2017年～2017年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
米国	ミネソタ大学人口センター			
英国	オックスフォード大学			
中国	香港中文大学			